

平成 2 5 年度 事業報告

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

1 総 会

平成 25 年 5 月 18 日 (土) 平成 25 年度総会をアラスカ会館に於いて開催しました。当日は日本河川協会の青山俊樹理事に来て頂きご挨拶を頂きました。総会終了後、前西北地域県民局地域整備部長の加藤清和氏が講師となり、「インドネシア ゲンドール川踏査報告」という演題で講演をして頂きました。

(参加者 52 名)

(参考)

あおもりの川を愛する会 基本方針

1. 柔軟にもの考え、自由に発言できる個人会員が自発的に運営する。
2. 各人が川や水辺に関し興味を感じたことの議論を深め、会報、総会で意見交換を行う。
3. 川の文化の発展に貢献できることを発信する。

2 実施した事業

1) 幹事会開催 (3 回)

平成 25 年 4 月 16 日 第 1 回 幹事会

平成 25 年 11 月 20 日 第 2 回 幹事会

平成 26 年 1 月 28 日 第 3 回 幹事会

2) 鳴沢川源流探訪会

平成 25 年 7 月 26 日標柱の建立を西津軽郡鯨ヶ沢町長平に流れる鳴沢川の源流の地に標柱を建立しました。毎年 1 ヶ所、源流の地の標柱を建立しており、今年で 8 柱目となりました。

参加者 18 名は、同日、午後 1 時 45 分ころ「道の駅 もりた」に集合していただき建立地まで車に相乗りし向かいました。

気温は多少高めでしたが、暑さの中、スコップ、ツルハシを各交替で作業し無事終了しました。(参加者 18 名)

<大畑川、野辺地川、蟹田川、田名部川、土淵川、天田内川、浅水川、>

3) 河川技術講演会

平成 25 年 8 月 4 日 五所川原夏祭り「立ちねぶた」の開幕日に、五所川原市平山市長挨拶を始めとしてオルテンシアで「河川技術講演会」が開催されました。青森河川文化講演会は平成 1 0 年から開催され今回で 1 6 回目となります。

講演会の内容は「近年の河川における課題と解決の方向性」講師 国土交通省東北地方整備局 工藤啓河川部長が行う予定でしたが、12 時 28 分頃、宮城県沖で発生した震度 5 強の地震に伴い急遽、東北地方整備局仙台へ戻られました。その為、代行で青森河川国道事務所盛谷明弘所長に講演をして頂きました。二人目は「河川技術と河川生態の融合～十三湖の食物網とそれを支える岩木川流域の環境特性～」(講師 山梨大学大学院 医学工学総合研究部准教授 岩田智也氏) の講演が行われました。

最後に三村申吾知事よりご挨拶を頂きました。(参加者 153 名)

4) 蔦川の清掃活動

第 11 回目となります蔦川（旧十和田湖町）の清掃活動が平成 25 年 9 月 7 日に焼山町会長並びに会員ほか約 80 名参加され、例年通り分別袋を渡しごみ拾いを行いました。（参加者 80 名）

5) イワナ産卵床づくり

平成 25 年 10 月 7 日蔦川の小溪流に今年で 7 回目になります「イワナの人工産卵床」を 2ヶ所設置しました。（参加者 17 名）

1ヶ月後、産卵を確認いたしました。

6) サークル活動

次第のとおり

7) 会報の発行

平成 25 年度 第 18 号「わの川だより」を平成 26 年 3 月 31 日に発行しました。

8) 情報の発信

インターネットホームページの内容向上、E-Mail の交換により、会員同士の情報交換、一般の方々への情報発信を行い、川の文化の発展に寄与していく。

（HP にアクセスする際は、「あおもりの川を愛する会」で検索して下さい）

議案2号

平成25年度収支決算報告

(自 平成25年 4月1日 ~ 至 平成26年 3月31日)

収入の部

円

項目	予算	決算	増減	摘要
自主財源	390,936	385,942	-4,994	
日本河川協会助成金	105,000	100,000	-5,000	100×1,000円/人
あおもりの川を愛する会会費	184,000	184,000	0	会員一人あたり1,000円
諸収入	12	18	6	銀行利息
前年繰り越し	101,924	101,924	0	
助成財源	285,000	285,000	0	
青森県河川砂防協会協賛金	200,000	200,000	0	河川技術講演会・標柱建立・イワナの産卵床づくり
青森県建設業協会協賛金	60,000	60,000	0	
青森県測量設計業協会協賛金	25,000	25,000	0	
合計	675,936	670,942	-4,994	

支出の部

円

項目	予算	決算	増減	摘要
総会費	50,000	29,767	-20,233	通常総会 平成25年5月18日
河川文化講演会	300,000	304,265	4,265	河川技術講演会 平成25年8月4日
蔦川清掃活動	20,000	12,475	-7,525	ゴミ袋・軍手等 平成25年9月7日
イワナの産卵床づくり	20,000	5,000	-15,000	砂利 平成25年10月7日
会報発行	30,000	29,166	-834	平成26年3月31日 1回発行
情報発信共有<インターネット>	50,000	50,000	0	校正・作成料、メンテナンス
通信費	100,000	68,545	-31,455	郵送料
会議費	50,000	46,825	-3,175	幹事会(3回)
源流探訪会	20,000	20,000	0	建立柱(鳴沢川)
事務用品費	10,000	7,269	-2,731	封筒、用紙
予備費	25,936	97,630	71,694	
合計	675,936	670,942	-4,994	

収入合計670,942-支出合計573,312=繰越残高 97,630(予備費金額同額)

平成 26 年度事業計画（案）

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

1 基本的活動方向

1. 柔軟にものを考え、自由に発言できる個人会員が自発的に運営する。
2. 各人が川や水辺に関し興味を感じたことの議論を深め、会報、総会で意見交換を行う。
3. 川の文化の発展に貢献できることを発信する。

2 平成 26 年度事業計画

1) 総 会

会員が集合し、直接意見交換、討論する機会として、年に 1 回実施する。平成 26 年度は、今回の意見交換で出されたご意見を基に、会として青森の川の文化発展に寄与できるテーマを探り、会報、ホームページを通して会員に周知し、それに各人が、それぞれの活動により深められた論点を持って意見交換ができるような場を提供したいと考えている。

2) 幹事会

会の運営等について、検討、連絡調整及び審議等を行う。

3) 活 動

川の文化の発展に貢献するため、一般の方々への当会の認知、PR を兼ねて活動を実施する。

I. サークル活動

- ・堤川を愛する会（青森市）
- ・親しめる川づくりサークル（弘前市）
- ・ジョイリバーおいらせ（十和田市）
- ・サークル「母なる川」（五所川原市）

II. 青森の川の文化発展に寄与できるテーマで河川文化講演会の開催

河川文化講演会 1 回 平成 26 年 5 月 17 日 16:00~17:00 於：アラスカ会館

河川技術講演会 2 回 平成 26 年 7 月 30 日 13:50~16:30 於：津軽伝承工芸館

III. 源流の地標柱建立活動（7 月下旬 黒石市十川 実施予定）

IV. 親子が参加する浅瀬石川自然学習会（平成 26 年 8 月 23 日 黒石市浅瀬石川）

V. 奥入瀬溪流・鳶川清掃活動

（毎年 9 月第 1 土曜日 9 月 6 日）

VI. イワナの産卵床作り活動

（10 月 7 日）

4) 会報の発行

年 1 回程度会員に情報を配信する。

5) 情報の発信

インターネット「あおもりの川を愛する会」ホームページの内容向上、E-Mail の交換により、会員同士の情報交換、一般の方々への情報発信を行い、川の文化の発展に寄与して行く。

ホームページの改訂を適宜に行い、会員に最新の情報が伝達されるとともに、一般の方々が無難にアクセスできるようにしたい。（HP にアクセスする際は、「あおもりの川を愛する会」で検索して下さい）

議案4号

平成26年度収支予算(案)

(自 平成26年 4月1日 ~ 至 平成27年 3月31日)

収入の部

円

項目	予算	摘要
自主財源	378,648	
日本河川協会助成金	100,000	日本河川協会個人会員一人あたり1,000円
あおもりの川を愛する会会費	181,000	愛する会会員一人あたり1,000円
諸収入	18	銀行利息
前年度繰り越し	97,630	
助成財源	285,000	
青森県河川砂防協会協賛金	200,000	
青森県建設業協会協賛金	60,000	
青森県測量設計協会協賛金	25,000	
合計	663,648	

支出の部

円

項目	予算	摘要
総会費	50,000	
河川文化講演会	300,000	
蔦川清掃活動	20,000	
イワナの産卵床作り	20,000	
会報発行	30,000	年1回発行
情報発信・活動(インターネット)	50,000	(1年度分内容の更新)
通信費	80,000	各案内等送料
会議費	50,000	幹事会
源流探訪会	20,000	建立柱等
事務用品費	10,000	封筒他
予備費	33,648	
合計	663,648	

収入合計－支出合計＝0